



木
之
子

中
井
産
業

光
の
匠



NAKAISANGYO

職人が作るぬくもりと 天然木へのこだわり。

この会社では本物の木を使うことに拘っており、国産の杉やヒノキ、外国産のスプルースなどを用途に合わせて使用している。自然素材である木の製品は日光を浴びたり、手入れをすることによって味わい深く「経年美化」し、化学製品には決して作り出せない美しさや趣を生み出す。

また、昔から金物を使わないことにもこだわり、ほぞなどの技術を中心として接合を行っている。天然であるために天候による歪み等は出やすいが、職人の技術を使って調整している。

実際に訪問させて いただきました

● 社内の様子

社内にはグラデーションやレイヤーランダムと呼ばれるこの会社の製品が設置されていた。社内は清潔に保たれていて、工場内社内共に木の香りが仄かに感じられて心地良かった。

また、力が必要な作業の効率化を図るためにさまざまな機械を導入している。それにより女性にも活躍の場を設ける事ができ、働きやすい職場環境作りに尽力している。

● 職人技

木の癖、木目を見ながらその木その木に合わせた加工をしている。ひとつひとつ丁寧で繊細な作業で、木に対する思いと顧客のニーズに応えたいという心が伝わってきた。

総合木工メーカー

中井産業 株式会社



Interview

生徒：職人さんたちがやりがいを感じるのとはどんな時ですか。

職人さん：入った当時の仕事内容と現在の仕事内容は異なっていますが、頭の中でイメージしたものと同じものができた時です。また、1人で作業し、加工したものが綺麗に組み立てられた時もやりがいを感じます。

生徒：この会社で職人になろうと思ったきっかけは何ですか。

職人さん：現場監督をしていたときに、実際に自分の手でものづくりをしてみたいと思ったからです。

生徒：普段どんなことをしているか詳しく教えてください。

職人さん：木は自然のものなので同じ仕事をするのではなく、毎日違う仕事をしています。基本的には注文を受けたものを作っています。最近では、職人側からの新商品も作っています。

オリジナルブランド

KITOTE

木と手と、 SDGSの取り組み。

中井産業では、SDGsの取組の一環でSHA/SHAというオブジェクトの販売も行っている。木製建具の製造過程ではどうしても端材等が発生し、廃棄せずを得ない。そこでこの端材を利用できないかと生み出されたのが、このSHA/SHAである。

「SHA」は、「斜め」と「遮る」という意味。上質な木から出た端材を使っているからこそ、木が曲がることなくこの繊細なデザインが成り立っている。またこのオブジェクトにはインテリアとして使う他に、空間を柔らかく遮るという利用方法がある。例えばテーブルに置くことで閉め切らずに自分のスペースを簡単に形作ることができるのだ。SHA/SHAは障子を長年作り続けてきた中井産業ならではの室内を彩るオブジェクトである。



◀中井産業公式
Instagram

中井産業
所在地



KITOTEの作品。

● AIR SHOJI

少子化の影響や新住宅系の和室設置数の減少によって障子の設置場所が減ってきている。そのため従来の和室以外でも魅力的な障子が必要だと考え、制作したのがAIR SHOJIだ。

- ・ワイヤーシステムと障子の組み合わせにより様々な場所に設置可能
- ・壁面の装飾、証明、パーテーションに。



● LAYER RANDOM

- ・縞子を縦横・前後で組み合わせ、二重構造の障子。断熱性に優れている
- ・表裏の柄が異なる光の透過、影の美しさが特徴的で様々な表情を楽しめる



● 受賞歴

- ・2019 ウッドデザイン賞受賞
- ・2017 IF賞
世界的なデザイン賞を受賞
- ・Design For Asia Award 2016
- ・グッドデザイン賞2015

住所

中井産業株式会社
〒640-8444
和歌山市次郎丸23番地